

初の大回顧展！

令和六年度・岡山の美術展 特別展示

没後八十年

波多野華涯

筆と生きた女性

2024年7月13日(土) ▼ 8月25日(日)

HATANO Kagai — a woman's life painting Nanga

開館時間 ● 9時～17時(入館は閉館の30分前まで)
7月27日(土) および 8月10日(土)～
25日(日)の土日祝は19時まで開館
休館日 ● 7月16日(火)、22日(月)、29日(月)、
8月5日(月)、19日(月)

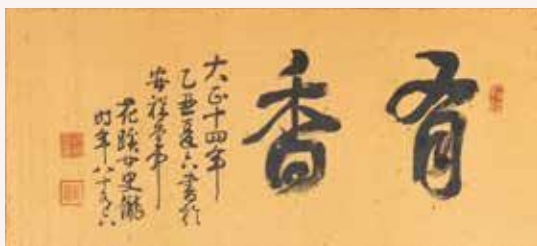
観覧料 ● 一般:350円/65歳以上:170円*/
大学生:250円*/高校生以下:無料*
*学生証やシルバーカード等、年齢
が確認できる証明書をご提示くだ
さい ※キャンパスメンバーズ制度加
盟校の学生は無料 ※障がい者手
帳等をご持参の方とその介護者1名
は無料 ◎同時開催の特別展「鈴木
敏夫とジブリ展」観覧券でもご覧
いただけます。ただし特別展は土日祝
および 8月13日(火)～16日(金)の
期間、日時指定予約制です。

会場 ● 2階展示室

主催:岡山県立美術館 / 助成:芸術文化振興基金、公益財団
法人三菱UFJ信託地域文化財団、公益財団法人福武教育
文化振興財団 / 特別協力:小田切マ(華涯文庫代表・
波多野華涯曾孫) / 後援:岡山県教育委員会、岡山市、
岡山市教育委員会、岡山県郷土文化財団、公益社団法人
岡山県文化連盟、一般財団法人岡山県国際交流協会、公益
社団法人岡山県観光連盟、おかやま観光コンベンション協会、
山陽新聞社、NHK岡山放送局、RSK山陽放送、OHK岡山放送、
TSCテレビせとうち、RNC西日本放送、KSB瀬戸内海放送

 岡山県立美術館
OKAYAMA PREFECTURAL MUSEUM OF ART

波多野華涯《玉蘭海棠園》(部分) 1921、華涯文庫



6

どうか私の筆が純南畫で居て欲しいと願って居ります

大正から昭和初期、岡山のひとりの女性が絵筆をとって暮らしていました。彼女は、漢籍の知識に基づいて花鳥や山水を描く「南画」と呼ばれる分野で活躍し、アトリエには老若男女の門人が集いました。本年はその南画家・波多野華涯の没後八十年にあたります。

華涯の作品は確固たる筆の力や鮮麗なる色遣いに魅力があります。諸地域の師や文人たちとの交流を通じて、迫力ある画面から繊細な描写まで様々に挑みました。

また華涯は、幼い頃から多くの下絵や手紙などを残しています。それらは子孫宅で大切に守り継がれ、華涯という画家の人生を現代に伝えていきます。

本展は、華涯の作品、師の書画や関連する中国絵画、そして華涯旧蔵資料を通じて、岡山ゆかりの近代南画家の一面に迫ります。

波多野華涯 (1863-1944)

文久3年、大阪生まれ。13歳で東京に遊学し、跡見学校(現在の跡見学園)第1期生として、跡見花蹊(1840-1926)に学問や絵画の指導を受ける。卒業後は南画家・瀧和亭(1832-1901)や森琴石(1843-1921)にも学び、大阪や広島、東京で作画を続けた。大正8年(1919)頃に岡山へ転居、画業に邁進し、同10年より画塾「有香社」を主宰。書画展への出品も続け、県内外で活動した。昭和19年7月18日没、法界院(岡山市)に葬られる。



8

関連事業 ※全て申込不要

記念講演会 「瀧和亭と周笠一華涯の絵画に息づく中国花卉図の伝統」

日時 ● 7月21日(日) 14時～
講師 ● 西上実氏(京都国立博物館名誉館員)
会場 ● 当館2階ホール
定員 ● 200名 [当日先着順、要観覧券]

美術館講座「華涯が暮らした岡山」

日時 ● 8月10日(土) 14時～15時30分
講師 ● 森田詩織(当館学芸員)
会場 ● 地下1階講義室
定員 ● 50名 [当日先着順、聴講無料]

美術の夕べ/フロアレクチャー

日時 ● 7月27日(土) 17時30分～ / 8月18日(日) 14時～
講師 ● 森田詩織
会場 ● 2階展示室 [要観覧券]



交通案内 ※可能な限り公共交通機関をご利用ください。

JR岡山駅後楽園口(東口)から ●徒歩:約15分 ●路面電車:岡山駅前電停1番乗り場 東山行「城下」下車徒歩約3分 ●岡電バス:1番乗り場 藤原団地行「天神町」下車すぐ ●宇野バス:11番乗り場 四御神、瀬戸駅、片上方面行「表町入口」下車徒歩約3分 ●循環バスめぐりん:岡山駅前バス停10番乗り場 県庁・京橋線(Cルート)「表町入口」下車徒歩3分



〒700-0814
岡山市北区天神町8-48
TEL 086-225-4800
FAX 086-224-0648
Email kenbi@pref.okayama.lg.jp
WEB https://okayama-kenbi.info

